

若者の教育者であり友人

クーベルタンの考えの中心には、教育制度、教育学、市民としての人間形成が常にあった。
「教育者」であることを自認していた。

1925年、万国教育連盟を創立。



1890年、教育制度の根本的な改革を呼びかけた。

「教育学の改革なくして、政治、経済、社会改革は成しえない」と述べた。

1934年、アメリカの若者に向けたラジオ放送。